

平成30年度 事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡

1 事業の成果

平成28年4月から指定管理者として事業受託した福岡市立ひとり親家庭支援センター（以下、センターという）の管理・運営の第3期3年目である。指定期間は平成28年度～平成32年度の5年間である。

第1日曜に単独で開催している「子育てひろば」が少しずつ周知され、利用者が拡大した。就業支援講習会にレクレーション介護士2級講座を新たに加えた。また修了アンケートを反映してFP技能検定講座を土曜に、パソコン検定対策講座を日曜に開催して働いている人に喜ばれた。夜間の講座は受講生が減っているため、短期間で終わるようにワードとエクセルを切り分けた。生活支援講習会では、「養育費・面会交流セミナー」、「子育て講座」、「親子クッキング」、「家計管理」を引き続き実施してライフプランを考えたり、子育ての悩みを共有する機会とした。また、ひとり親家庭無料職業紹介事業での紹介件数は減っているが、求職者にハローワークインターネットサービスから情報提供し、就職へとつなげた。

福岡市ひとり親家庭自立支援プログラム策定事業は伴走型の就業支援である。制度が周知され、生活保護受給者等就労自立支援事業を使い、マザーズハローワークやハローワークと連携して多くの就職につながった。

子育て支援事業のメインイベントである夏休みバスハイクはぶどうの樹（福岡県岡垣町）に行き、バイキング料理やソーセージ作りを楽しんだ。国際ソロプチミスト福岡中央より寄付金をいただいているので、費用の一部にあて、台風が来ていたがバス車内や食事・ソーセージ作り会場では参加者どうしの交流が図られた。

センターで実施して7年目となる「夏休み学習教室」に加え、子どもが暇なのでとの要望を受け「春休み学習教室」も初めて開催し、九州大学他の大学生ボランティアが講師となり、小学校3年生から6年生までの子どもたちががいきいきと通った。

運営委員会では、子育て中のシングルマザー3名からの要望を聞き、初めて「フリーマーケット」を開催した。「福岡市母子福祉会芙蓉基金」ひとり親家庭等福祉振興助成事業の助成金を活用し、2回目となるクリスマス会を開催した。マジックショーでの不思議なマジックで大いに盛り上がった。チャリティーサンタからサンタも駆けつけ、一人ずつに絵本がプレゼントされ、嬉しそうな顔が印象的だった。ペットボトルに豆を入れた手作りマラカスでサンタの歌を歌い、母親たちはそれぞれに交流した。おてらおやつクラブやソロプチミスト福岡中央から提供された品やシフォンケーキをお土産に帰路についた。

恒例の花見は、会場を交通の便利がいい天神に変えたので、参加者が多かった。子どもの年齢が近い人たちで輪になり、弁当タイムのあとは、おしゃべりの花が咲いた。

福岡市男女共同参画推進センター・アミカスの市民グループ活動支援事業は「養育費と面会交流～日本の現状と課題～」を開催した。昨年に続いて養育費をめぐる法制度に詳しい福岡大学法科大学院の小川富之教授に、養育費不払いの際の各国の制度や、面会交流の取り組みについて講演いただいた。日本は裁判所が関与しない協議離婚が多く、養育費の支払いは本人に任されている状態のまま改善されず、世界に比較して遅れている。しかし日本と同じく協議離婚が多い韓国では2009年に民法等の改正があり、養育費が確保されるようになった。その背景には、クオータ制による女性議員の増加と女性の地位向上が作用している。日本でも参考になると話された。「海外では重要と考えて進めていることが、日本ではまだまだ整っていないことが分かった。」「今後養育費が適正に新算定表で払われるように家庭裁判所や弁護士の認識が変わればいいと思う。」などの感想が寄せられた。

ゆるやかなネットワークであるシングルマザー全国連絡協議会の年1回の会議が、島根県で開催される予定だったが前日の西日本豪雨のため新幹線が不通となり、福岡、関西は参加できなかった。飛行機や陸路で前日出雲市に到着できた団体で開催され、議事録を受け取った。

世代交代に備えて、NPOの次世代育成プログラムに50代のメンバーを派遣し、今後活かせるよう熱心に受講してもらった。

しんぐるまざあず・ふぉーらむ（東京）がフィリップモリスの助成金を受けて開催した「自己尊重トレーニングファシリテーター養成講座」に参加し、次年度福岡で「自己尊重トレーニング」を開催できるよう準備した。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
就労支援事業	福岡市立ひとり親家庭支援センターの無料職業紹介事業を受託	平成30年4月～平成31年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	2人	福岡市内のひとり親、寡婦 284人	0
相談事業	当事者による離婚、生活相談	平成30年4月～平成31年3月	当会事務所	1人	主としてひとり親 6人	0

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
セミナー事業	養育費と面会交流～日本の現状と課題～	平成30年10月8日	福岡市男女共同参画推進センター・アミカス	5人	主としてひとり親 15人	30
	ひとり親家庭のつどいワークショップスタッフ	平成30年11月18日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	1人	福岡市内のひとり親と子ども 24人	3
出版事業	母子家庭に関する会報の発行	年4回(6月、9月、12月、3月)	当会事務所	4人	購読者 100人	74
子育て支援事業	リフレッシュ事業 夏のバスハイク	平成30年7月29日	福岡県岡垣町 八幡屋、ぶどうの樹	2人	ひとり親と子ども 38人	173
	夏休み学習教室	平成30年8月16日～8月23日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	2人	ひとり親家庭の子ども 8人	11
	親子で楽しむクリスマス	平成30年12月23日	大手門保育園 子育て支援室	3人	ひとり親と子ども 76人	159
	春休み学習教室 (CAP子どもワークショップ ¹ 日)	平成31年3月26日～3月29日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	2人	ひとり親家庭の子ども 8人	5
	花見	平成31年3月31日	福岡市天神中央公園	3人	ひとり親と子ども 29人	32
調査・研究事業	ひとり親家族への支援に関する日韓共同研究へ調査協力	平成30年11月23日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	1人	日韓のひとり親 多数	0
福祉事業	シングルマザーフリーマーケット	平成30年7月22日	福岡市男女共同参画推進センター・アミカス	3人	福岡市内のひとり親 7人	15
	提供された物品の配布 (おてらおやつクラブ、西日本新聞民生事業団、㈱ドラゴンゲート)	平成30年4月～平成31年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 200人	0
他団体の事業受託	福岡市立ひとり親家庭支援センターの管理・運営	平成30年4月～平成31年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 10,296人	48,153
他団体の事業受託	平成30年度福岡市ひとり親家庭等日常生活支援事業	平成30年4月～平成31年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 160人	1,130
その他法人の目的達成の為の事業	NPOの次世代リーダー育成プログラム (日本フィランソピー協会主催)	平成30年5月31日～6月2日	TKPガーデンシティPREMIUM博多駅前	1人	参加者 30人	15
その他法人の目的達成の為の事業	シングルマザーサポート団体全国連絡会	平成30年7月7日～7月8日	参加できず	0人		2
その他法人の目的達成の為の事業	自己尊重トレーニング ファシリテーター養成講座	平成30年11月3日～11月4日	東京都文京区	2人	当事者団体従事者 15人	166